

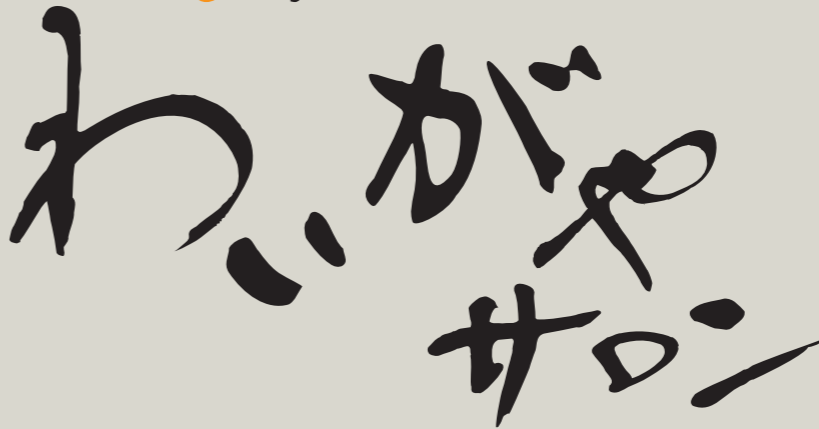


- 第1回 大河ドラマ「風林火山」をめぐる 平成18年9月19日  
講師/佐倉 一徳さん NHK長野放送局企画総務部副部長  
樋口 博さん 長野市産業振興部観光課課長
- 第2回 もっと楽しくて、元気な街づくりを 平成18年10月23日  
講師/久米 えみさん ながのクラッセ会長  
樋口 敦子さん ながのまちづくりカフェメンバー
- 第3回 スポーツによる街づくりを 平成18年11月21日  
講師/鷲沢 幸一さん アスレながの事務局長  
室賀 豊さん 長野市アイスホッケー協会理事
- 第4回 写真で見る長野の街並み 平成19年1月23日  
講師/清水 隆史さん フォトグラファーほか 常盤 昭二さん CMディレクター
- 第5回 健康と美容を保つために 平成19年3月22日  
講師/虎羽里(トラバリ)ゼーラさん アーキュルヴェータ・健康セラピスト
- 第6回 環境と街づくり ばていお大門・TOIGOの設計に参画して 平成19年4月23日  
講師/竜野 泰一さん 株式会社エーシーエ設計 取締役副社長 [一級建築士]
- 第7回 信濃グランセローズの挑戦 平成19年5月21日  
講師/木田 勇さん 信濃グランセローズ監督
- 第8回 スポーツマンシップの大切さ 平成19年8月29日  
講師/荻原 健司さん 参議院議員・五輪金メダリスト
- 第9回 トウガランの尽きせぬ魅力/「農」による地域活性を探る 平成19年10月24日  
講師/松島 憲一さん 信州大学大学院農学研究科 准教授
- 第10回 命のバトンを渡す「ピオトープ」/長野市をピオトープネットワークシティに 平成19年11月14日  
講師/松岡 保正さん 国立長野工業高等専門学校 環境都市工学科教授
- 第11回 簡単・おいしい・オシャレ/わたしのレシピができるまで 平成20年3月26日  
講師/浜 ことみさん クッキング・コーディネーター
- 第12回 あなたのからだは「築何年」ですか? 平成20年7月14日  
講師/角本 浩二さん バランスアドバイザー 長野県健康管理士协会会长
- 第13回 アメリカ生活で感じたあれこれー変化に対して前向きになることの大切さー 平成20年8月19日  
講師/針谷 友久さん 東京中小企業投資育成株式会社 主任(長野県担当)
- 第14回 市役所第一庁舎及び長野市民会館の在り方を考える 平成20年9月16日  
講師/水野 守也さん 長野市総務部次長 兼庶務課長
- 第15回 長野バルセイロー ー優勝報告&JFL昇格への挑戦 平成20年10月29日  
講師/バドゥ・ビエイラ監督、薩川了洋コーチ、真富信宏キャプテン
- 第16回 農業再生とブランド化 平成20年12月3日  
講師/町田 良夫さん 社団法人長野市農業公社 常務理事
- 第17回 地上の楽園は馬の背にあり 平成21年2月18日  
講師/中山 修さん 中山法律事務所 弁護士
- 第18回 循環備蓄型の農業の実践ー宇宙のリスムにあつた農業で一次産業の再生を試みるー 平成21年6月3日  
講師/塩澤 研一さん (財)いのちの森文化財団副理事長 (株)水輪ナチュラルファーム代表取締役
- 第19回 郷土を包む「おやき」 平成21年7月14日  
講師/小出 陽子さん (向)ぶきっ子のお八起 代表/信州おやきブランド化委員会 研究会リーダー
- 第20回 信州の伝統から生まれる食文化ー漬物の新しい風ー 平成21年9月2日  
講師/宮城 恵美子さん (有)宮城商店専務取締役/木の花屋
- 第21回 飯綱高原を、もっと住みよく、おもしろく! 平成21年11月24日  
講師/志村 雅由さん NPO法人 飯綱高原よこらっしょ 代表理事
- 第22回 JFL昇格に向けて 平成22年3月17日  
講師/薩川了洋さん AC長野バルセイロ新監督
- 第23回 先人の知恵を受け継ぐ〜トチの実、雑穀、あんぼ〜 平成22年5月25日  
講師/石沢 一男さん (有)田舎工房 代表取締役
- 第24回 3度目でつかんだオリンピック出場 平成22年7月28日  
講師/新谷 志保美さん バンクーバーオリンピック代表 (株)竹村製作所 勤務
- 第25回 逃げないスケルトン ～夢と感動と勇気を～ 平成22年9月15日  
講師/越 和宏さん スケルトン競技3大会オリンピック日本代表 (株)システックス所属
- 第26回 Go to J ～J～を長野に…いよいよ地域決勝大会!～ 平成22年10月25日  
講師/鈴木 政一さん 長野バルセイロ・アスレチッククラブ強化本部長
- 第27回 グランドデザインの視点で「信州の食」を考える 平成22年11月30日  
講師/千村 尚司さん 千村ブレイン代表・ソムリエ
- 第28回 ご利益のある町づくり 平成23年1月26日  
講師/川崎 史郎さん フリーライター・市民記者ネット代表
- 第29回 防災と危機管理 平成23年6月1日  
講師/安藤 長一さん 篠ノ井消防署署長、緊急消防援助隊長野県隊長(第二次派遣隊)
- 第30回 江戸のエコロジストー茶ー 平成23年8月30日  
講師/マブソン 青眼さん 俳人・比較文学者
- 第31回 Waを生かしたまちづくり 長野はもっと元気になる 平成23年9月28日  
講師/井上 裕子さん 信濃毎日新聞社編集局地域活動部長・編集委員
- 第32回 メディアから見た長野 平成23年10月19日  
講師/田幸 淳男さん 信越放送取締役相談役
- 第33回 旅の楽しさと長野の魅力で世界をむすぶ 平成24年1月31日  
講師/飯室 織絵さん 観光客向けゲストハウス「1166バックパッカーズ」運営
- 第34回 神輿で街の元気を呼び覚ませ 平成24年2月28日  
講師/相原 哲さん ながの町神輿連合会武睦会 会頭
- 第35回 長野とオリンピックレガシー 平成24年3月26日  
講師/小林 亨さん 日本オリンピック委員会(JOC)勤務
- 第36回 すべてが一丸となって「ながのの宝もの」をJへ 平成24年4月24日  
講師/薩川了洋さん AC長野バルセイロ監督
- 第37回 信州の野鳥たち 平成24年8月31日  
講師/小宮山 義光さん 日本野鳥の会長野支部会員
- 第38回 見る 学ぶ 体験する 自然農法 平成24年9月27日  
講師/塩澤 研一さん 農業生産法人水輪ナチュラルファーム代表取締役/(財)いのちの森文化財団 副代表理事

- 第39回 善光寺表参道と中心市街地のWi-Fi計画 平成24年10月25日  
講師/但田 達男さん NTT東日本 長野支店長
- 第40回 しなの鉄道長野以北延伸と営業戦略 平成24年12月6日  
講師/山田 隆さん しなの鉄道(株) 専務取締役
- 第41回 自然との共生 平成25年2月28日  
講師/藤岡 牧夫さん イラストレーター・絵本作家
- 第42回 花は人を育てる 平成25年4月9日  
講師/矢澤 秀成さん 園芸研究家/ながの花と緑そして人を育てる学校校長
- 第43回 人と組織の笑顔の創造 平成25年5月31日  
講師/近藤 京子さん カウンセラー/NPO法人「わくわく志事研究所」所長
- 第44回 信州の分水嶺 ～山と川と里～ 平成25年8月22日  
講師/栗田 貞多男さん 写真家
- 第45回 長野市の魅力と不動産取引の発展性 平成25年11月20日  
講師/鶴志田 明弘さん 野村不動産アーバンネット株式会社 企業不動産部専任部長
- 第46回 地域におけるバイオマス利活用について 平成26年1月29日  
講師/天野 良彦さん 信州大学工学部物質工学科教授
- 第47回 AC長野バルセイロー私のチームマネジメントについて 平成26年3月3日  
講師/美濃部 直彦さん AC長野バルセイロ監督
- 第48回 わたしにとってのボランティア 平成26年4月16日  
講師/丸田 勉さん 脚本・演出家 森の家 林りん館館長
- 第49回 金沢の未来と長野へのエール 新幹線で結ぶ金沢と長野の絆 平成26年5月26日  
講師/浅野 邦子さん 株式会社 箔一 代表取締役会長
- 第50回 取材を通してみた長野の魅力 ～長野をもっと元気に!～ 平成26年10月8日  
講師/平沢 幸子さん 長野朝日放送 アナウンサー
- 第51回 チームマネージメント 平成27年1月19日  
講師/本田 美登里さん AC長野バルセイロ・レディース監督
- 第52回 本物のおもてなし ～加賀屋の経営理念とビジョン～ 平成27年3月17日  
講師/小田 興之彦さん 株式会社加賀屋 代表取締役社長
- 第53回 地域の元気をつくる「成長企業」は、ここが違う!～地方の中規模企業が成功するための法則とは?～ 平成27年7月1日  
講師/廣井 紀文さん 株式会社ディーテス 代表取締役社長
- 第54回 長野から宇宙へ! ～ローカル企業のチャレンジ～ 平成27年8月25日  
講師/羽生田 豪太さん 株式会社羽生田鉄工所 代表取締役
- 第55回 食を通じて発見 知られざる長野の魅力! 平成27年10月8日  
講師/中島 麻希さん 1級フードアナリスト
- 第56回 摩訶不思議!長野の神々の靈感の世界 平成27年11月17日  
講師/齋藤 安彦さん 宮司
- 第57回 大河ドラマ「真田丸」の舞台裏 ～撮影を通して見た信州の魅力～ 平成28年4月2日  
講師/屋敷 陽太郎さん NHKチーフプロデューサー
- 第58回 真田丸の時代を語る ～時代考証の舞台裏 平成28年7月2日  
講師/平山 優さん 歴史研究家
- 第59回 寺町商家の運営で気づいた\*食、の力 平成28年8月30日  
講師/西村 知子さん 寺町商家運営アドバイザー
- 第60回 地域から社会を変えよう! 行動する人の集まる港CREEKS 平成28年11月11日  
講師/広瀬 毅さん 株式会社CREEKS 広瀬毅建築設計室代表
- 第61回 長野バルセイロ ー今シーズンの目指すチームづくり 平成29年3月13日  
講師/浅野 哲也さん AC長野バルセイロ監督
- 第62回 輝く女性の活躍で長野県の企業を更に魅力的に! 平成29年5月30日  
講師/中島 恵理さん 長野県副知事
- 第63回 信州は橋の都 千曲川と犀川に架かる名橋/日本一美味しい飯山のお米 平成29年7月19日  
講師/服部 秀人さん 信州・橋の日推進協議会専務理事/エコファーマー
- 第64回 少子高齢化時代の長野市を考える ～行政の政策現場から見えるもの～ 平成29年8月23日  
講師/平尾 勇さん 長野県観光機構エグゼクティブ・プロデューサー (前松本市商工観光部長)
- 第65回 長野県を元気に!メンタルヘルス(心の健康)からの大きなヒント! 平成29年9月21日  
講師/野池 裕子さん ダイヤモンド・セルパ長野ファースト 代表・講師
- 第66回 陶芸の楽しみ 平成30年3月23日  
講師/愛甲 宏明さん 炭平コンピューターシステム株式会社 代表取締役社長
- 第67回 話すって難しい? 平成30年4月23日  
講師/坂橋 克明さん フリーバーソナリティー
- 第68回 中世善光寺如来堂東向き 平成30年7月5日  
講師/宮下 秀樹さん 株式会社守谷商會 執行役員、国立長野高専客員教授
- 第69回 これからの長野における大学教育 ～人生100年時代の生き方と学び方～ 平成30年8月23日  
講師/金田一 真澄さん 公立大学法人 長野県立大学 学長



**NUPRI**  
Nagano Urban Policy Research Institute  
NPO法人  
長野都市経営研究所  
〒380-0834  
長野市大字鶴賀問御所町1289-1丸本ビル2F  
TEL.026-235-7911 FAX.026-235-6166  
www.nupri.or.jp  
e-mail:nupri@nupri.or.jp



# 通信

Vol. 70  
2018.9



戸隠山および高妻山は山岳信仰・善光寺参りにおいて特別な存在だった



NPO法人 長野都市経営研究所

## 第70回

## 広域景観から見た善光寺 ～山岳信仰と他界意識～

9月26日(水) 18:00～20:00

講師／笹本 正治さん

長野県立歴史館 館長

■座長：岩野 彰 場所／NUPRI事務所

私たち地元市民は善光寺のことをどの程度知っているか？点としてしか見ていないのでは？ 秋半ばの宵、長年にわたって信仰史をはじめとする歴史文化を各地を歩いて研究してきた講師が投げかけました。

昨今、善光寺の観光客はほぼ日帰りなのは日本人の伝統的な聖地理解を抜きに、点としてしか善光寺を見せていないからではないか？ 権力者・宗教人・民衆を惹きつけてきた善光寺信仰とは何なのか？ それを解くヒントとして昔の人が抱いた善光寺のイメージを考えてみたい。

善光寺参詣曼荼羅  
～木、山、そして川～

まず中世末の『善光寺参詣曼荼羅図』を注意して見てください。いちばん下には川、いちばん上には山がある。皆さんはこのような視点でなく中央の善光寺部分しか見て来なかったのでは？ 曼荼羅というのは宗教的に大変大事なもので信仰の世界観が描かれている。私が着目しているのは「聖なる木」。塔の後ろの松には白い布や衣が掛けられていてまるで七夕のようです。世界・日本各地の聖地を歩いてみると色とりどりのリボンや布を巻き付けた風景によく出会う。そうしたことが世界普遍だからです。

柳も描かれています。質問です。幽霊が出る場所と言えどどこでしょう？ 一つは柳ですが。(会場から「井戸」「峠」「トンネル」「お墓」)そう、どこも地下です。峠はいちばん天空に近いという意味で、あの世と接触出来る。それらは、死んでしまった人と会える場所。つまり、枝垂れている柳は、あの世とこの世を繋いでいる。正月に門松を立てるのも、天の神様にいち早く見つけてもらうためですが、曼荼羅に描かれた善光寺境内の柳や松は、善光寺が天と地下の何かに出合える場所だと教えている。そういうことに意義を見出さないといけないと思うわけです。

善光寺の背後に山が描かれています。たぶん飯縄山(烏天狗すなわち飯縄権現が描かれているから)に雲がたなびき(雲は距離の遠さを示すとともに聖性を表していると思われる)、戸隠山(建物は顕光寺だろう)の背後に高妻山、更にあるのは妙高山、その隣の建物は小菅神社か？ 上杉謙信が武田信玄は仏法の敵ゆえ倒さんと更級八幡宮に於てた願書から戸隠・飯縄・小菅(飯山)三山の重要性がうかがえます。

下部には川。舟でやってきて橋を渡り、参詣する人々が描かれています。

次にお見せするのは江戸時代に描かれた『信濃水内彦神別神社遺跡之図』。こちらも上部に山、いちばん下に犀川と舟。そして特別なところに緑の木が描かれている。大勧進、寛慶寺、朝日山如来御林、如来鎮守の湯福・妻科大明神に櫻、西方寺・西光寺に松。この時代、神仏は区別されていません。どちらの信仰も木とのセットなしには考えられないということ。善光寺境内の如来堂に接するお堂に聖なる木があります。ここは本来は八幡様があった場所です今は大本願の墓所になっている。境内に描かれた聖なる木はこの一カ所のみ。その延長線上の戸隠山・高妻山に聖なる木がいっぱいある。もしこういうことが善光寺信仰の主体だとしたら、現代、信州に来たら善光寺だけでなく戸隠にも一泊いかがですか、日本人の信仰には山、木の緑が欠かせないですよ、というような誘導をかけるべきだと思います。

『善光寺道名所図会』においても飯縄・戸隠と善光寺行事との関連が記され、このように中世～近世の善光寺は山々・川と深く結びついています。古代インドの須弥山もチベット仏教のカイラス山も天然の曼荼羅であり聖地、修験道でも山は神と交わる場所。川については次に述べますが、この全体空間・世界観の中に善光寺信仰はあったと見るべきです。



ささもと しょうじ 1951年、山梨県生まれ。信州大学・名古屋大学大学院卒(歴史学博士)。信大文学部教授、副学長を務めた後、2016年より現職。研究主題は軍事史、災害史、信仰史等、多岐にわたり、『長野県史』『山梨県史』ほか自治体史の編集事業にも携わる。

## 信仰としての水、橋

～はたまた、気持ちを高めていく仕掛け～

水がなくては私たちは生きていけません。人間は水を生み出すことは出来ず、天から与えられるか地下から湧き出てくるものでした。私たちは天と地下のほんの少しの場所で生きており、地下は神仏が掌握している死者の世界すなわち他界。(だから井戸は特別な人が掘り、地・山は神聖でしたが、やがて人々は…この件は当初依頼されたテーマの山城に通じるのですが、今日は先を急ぎます)。昔の人々は、水が湧き出る清水、井戸・池をこの世とあの世との接点と考えていました。善光寺の周囲には寺を取り巻くように七清水、七井(池)、七橋があり、というより七という数字を設定することで、他界とのつながりを意識しながら善光寺の神聖さを主張したのです。

昔、遠くから歩いてきた参詣者は高妻山(戸隠は九頭竜・水の神様を祀る)が望める場所に辿り着くと、頂に向かって手を合わせたとか。さらに歩くと善光寺七清水に出会う。喉を潤して、善光寺に近付いたことを実感し、気持ちが高まったはず。

いよいよ善光寺に着きました。皆さん、お参りするとき、まずすることは？(会場から「手を洗う」)そのために寺社入り口に必ず手水舎があるんですね。なぜ？ 水は全てを清める力をもっているから。水の自浄機能もあって川は、他界・あの世に繋がると意識されていたのです。

そういう意味からするとなぜ私たちは橋を渡って神社や寺に行かなければいけないのだろう、という問いが解ける。川によって隔てられた二つの地域、この世とあの世を結ぶのが橋。すると善光寺七橋の意義も分かってきます。私が大好きな満願寺(安曇野市)の微妙橋。屋根付きの太鼓橋の橋板の裏面には、梵字のお経が書かれ、この世側には小さなお地藏さんも置かれています。人間世界から仏の世界に歩み入る私たちを思いやっているといませんか。

## 誇り

今は善光寺参りに観光という言葉を使いますが、昔は信仰だった。しかし、どうしたら心が平安でいられるかを求めて来る、という点では変わらないのではないかと。そのとき、周囲の山川、緑の木が人々に平安をもたらす。私が善光寺観光をもっと広域景観・広い視野でと言う所以はそこにあります。もし善光寺観光を進めたいならば、住む人も善光寺の歴史・周囲の山々に誇りを持ってと言いたいのです。

実は先ほどお話しした絵図や謙信願文に登場した小菅神社がある飯山・小菅地区に私は20年前から関わり、住民の皆さんと共に地区の歴史文化の掘り起こしや学習を重ねてきました。小菅に行くたびに妙高山に見入る私に集落の方が「こんないい風景、他にないですよ」と仰る。皆さん、地元で誇りを持っている。他に誇ってもいい景観だと国に働き掛けてから10年の昨年、小菅地区全体の景観が国の重要文化的景観に選定されたのでした。

世界を見ても、住んでいる人たちが「私の住んでいるところはいいところだ」と思っている町・地域に観光客が来ています。つまり全体がよければ人が来る。では皆さんは住んでいる長野市がいいところだと思っていますか？ 誇りを持っていますか？ もし「YES」と言えないならば、自分たちの地域のこととして善光寺についてもっと知る機会を作り、学んでいきましょう、という提案です。

次々と興味深い絵図・写真が示される熱いお話にアッパーカットを浴びたような出席者たち。講演後の講師と出席者たちの座談も最高潮のうちにタイムアウトとなりました。



『善光寺参詣曼荼羅図』(大阪府藤井寺市小山善光寺蔵、大阪市立美術館寄託) 上部に山、下部に川、中央が善光寺。周囲は善光寺の縁起が描かれている



柳や松は、この世とあの世を結ぶシンボル・聖なる木だったのではないかと



『信濃水内彦神別神社遺跡之図』(長野市立博物館蔵)。こちらも上部に山、下に犀川と舟

